

会 報

第38号

令和7年11月1日

わかば支援学校同窓会

山梨県南アルプス市有野 3346-3

わかばちゃんとぶんこちゃん

会長 長倉 正裕

同窓会会員の皆様、こんにちは。今年も無事に同窓会総会と親睦会があやめホールにて開催されました。今年は例年以上の猛暑でしたが、教職員の皆様の企画、前日からの準備、当日の進行及び炎天下の駐車場整理等のおかげで、無事に、なおかつ楽しく終えることができました。紙面をお借りして厚く御礼申し上げます。少しずつですが、年々参加者も増加傾向のようで、とても嬉しく思います。今年は「わかばちゃん」のサプライズ出演がありました。大人気で、たくさんの握手を求められていました。同窓生の皆様は、もう一人、「ぶんこちゃん」というゆるキャラが、ふじかわ分校にいるのをご存知でしょうか。わかばちゃんとぶんこちゃんが兄弟なのか親戚なのかは今のところ不明ですが、いつか共演できる日を心待ちにしています（笑）。

同窓生の皆さんに良いお知らせがあります。それは、学習発表会（昔の学芸会）に同窓生も見学できるようになりました。久しぶりにわかばの学校に行けるのです。同窓生が学校に行けるのは5年ぶりだと思います。嬉しいことですね。詳しいことは、わかば支援学校のホームページをご覧ください。でも、いつかは昔のように学校で総会と親睦会ができれば良いですね。そして、わかばちゃんとぶんこちゃんの共演できる日を楽しみにしています。

今後もわかば支援学校同窓会をよろしくお願い致します

ご挨拶

校長 金丸 学

今年の8月に、楡形のあやめホールにて盛大な同窓会が開催されました。久しぶりに顔を合わせた卒業生たちは、懐かしい友達や恩師との再会に笑顔を浮かべ、学生時代の思い出話に花を咲かせました。イントロゲームなどを通して、歌ったり踊ったり楽しい時間を共有でき世代を超えた交流も見られ、学校の歴史と絆を改めて感じるひとときとなりました。参加者からは「また集まりたい」「母校に行きたい」といった声が寄せられ、同窓会の意義を再認識する機会となりました。

今年は11月22日の学習発表会に同窓生を招待しますので、みなさん母校にお集まりください。今後もこうした集まりを継続し、卒業生同士のつながりを深めていきたいと思います。

光を放つ卒業生

PTA会長 深澤 仁司

今年度PTA会長を務めさせて頂いています。また、同窓会役員ともなるとのことで、任の重さを感じています。

この度開催された同窓会総会に参加し、友達、先生方との再会に笑顔満開の卒業生の成長に驚き、喜ぶ先生方の会話を聞き「わかばファミリー」を感じました。

総会前の理事会時、卒業後の我が子の様子を話される保護者の皆様の言葉に、苦労の中でも成長の喜びを語っておられるように聞こえ、学校での学び・体験がその後の成長に大きく寄与することを再確認しました。高等部でお世話になっているわが子を見てもそれは確かと言えます。

戦後障がい者福祉を切り開いた第一人者と言われる糸賀一雄氏の「この子らを世の光に」の言葉を思い出します。わかばを巣立った卒業生が各地で光り輝き、周囲を照らす存在にきっとなっている同窓生の存在をこれからも応援していきます。



新会員の皆さん

わかばを離れて・・・

池田 亮さん（R6年度卒業生）

僕は、わかばを離れてウエルシア甲府昭和店で主に飲料の品出しや、商品整理をしています。毎日中央市から、自転車や車などで通勤しています。入社したときは、ここで働いて大丈夫かなと不安でしたが、家族やサークルの支えなどもあり、今、真剣に働いています。

わかばを離れて、半年がたちますが、正直仕事以外は、特に変わらない時間を送っています。仕事は日曜日、月曜日がお休みで今までと違いましたが、学生の時とは大きく違う生活に、最近慣れてきました。社会人になってから、そこまでストレスを感じなくなりました。趣味の時間や友達と過ごす時間、家族の時間など、自分が楽しい時間を過ごせて、今とても楽しいです。最近高校からの貯金で、新しいギターを購入して、ギターの発表会に向けて準備したり、自分の趣味をSNSで発信したりしています。来年2月後半以降に友達とのドライブの予定など、自分が楽しいことをたくさんしています。楽しいことは自分の中にあると改めて感じました。

これからも我が道を進みたいと思います。



色々な経験ができて、毎日楽しいです！

佐野 初音さん（R6年度卒業生）

笛吹市にあるユニバやまなしに、長坂駅から石和温泉駅まで毎日ひとりで電車に乗り通っています。ユニバやまなしでは、入学して2年間は自立訓練という勉強をします。自立訓練とは、自分の興味があることを調べてまとめる自主研究や、毎週水曜日に調理実習があり、調理計画、買い物、先輩達と話し合ってメニューを考え料理をしています。学外活動もあり忍野八海に行きました。また、写真表現では勝沼のハーブ庭園に行き、バラの花を撮ってきました。バラの花にたくさんの種類があることに驚きました。

毎日の勉強が楽しくてたまりません。3年目からの2年間は、就労継続支援B型となり、ステップアップのための知識や能力の向上をめざした勉強をします。

私はユニバやまなしに4年間通う予定です。卒業後に自分がやりたい仕事を見つけ、自信をつけていけるようにこれからも頑張ります。12月にはユニバやまなしで学習発表会があります。皆さん、見に来てください。



日々の生活を大切に

栗原 俊仁さんの母（R6年度卒業生）

ふじかわ分校に9年間、本校に3年間とわかば支援学校に12年間お世話になりました。4月から身延町の深敬園 Bread&Butter へ、週4日通っています。高等部2、3年生での実習先でもあり、また、放課後等デイサービスや日中一時支援で利用していたので慣れた場所ではありました。今は毎日行くことを楽しみにしていますが、私の方が心配のあまり、朝からいろいろ言うってしまうので、日々反省しています。送迎バスに乗って通っていますが、毎朝、祈りながら送り出しています。パンやクッキー、お惣菜を作る事業所ですが、ウチの子は、クロック作りや準備片付け、時には畑仕事もしています。職員さんから「出来ることを俊君に頑張ってもらいます」と言っていていただいています。毎週水曜日は、わかば支援学校へ販売にも行き、先生方に会えることを楽しみにしています。いろんな方にかかわってもらい、支えていただきながら生活できることは本当にありがたいことです。

これからも親子共々、元気に楽しく毎日を過ごしていきたいです。

